



みんなの力でみんなの幸せ

s a w a r a b i

さわらび

9

September
2008
vol.425

医学講話▶ 新しい消毒剤 次亜塩素酸水と二酸化塩素

福井村病院院長 小橋 修

特 集▶ 未来を担う子どもたちと親への支援



新しい消毒剤 次亜塩素酸水と二酸化塩素



福住村病院 院長
小橋 修

今年の5月21日午後11時ごろ、農薬を飲んで自殺を図り、熊本赤十字病院の救命救急センターに搬送された男性のおう吐物から塩素系有毒ガスが発生し、近くにいた医師や看護師、患者ら30数人が目の痛みや吐き気を訴え、このうち女性研修医と男性の母親が重症。自殺を図った男性は死亡しました。一方、ノロウイルス感染者の吐物の消毒剤として推奨されている次亜塩素酸ナトリウムも塩素系有毒ガスを発生するので、閉め切った場所や風通しの悪い場所での使用には注意が必要ですが、皮膚

粘膜にも障害を与えるので粘膜に触れないように注意します。同等の殺菌効果をもつ次亜塩素酸水や二酸化塩素はこれらの点が改善されずと安全に使用できます。塩素系消毒剤の本体は活性酸素といわれ、ウイルス、細菌、カビなどを瞬時に殺します。オゾン水も活性酸素を作りますが、オゾンには発がん性などの有害な面もいくつかあります。食塩水の電気分解産物である、強酸性水や弱酸性水は、お酢の殺菌作用よりずっと強い殺菌作用があり、もう一方のアルカリ水のほうは飲料水として用いると赤ちゃんの便臭や、老人病棟独特の臭いが消える（腸内細菌叢が善玉に代わる）といわれて、医療の現場で利用されています。次亜塩素酸水（ウルトラソフト水）と

二酸化塩素（クレベリン）は殺菌・消毒剤として食品添加物、農薬として市販され、医療現場で消毒剤としてごく最近使用され始めました。ウルトラソフト水は手の消毒のみでなく、水虫や軽い皮膚の炎症などに使うと、その効果を実感できます。洗面所、風呂場の壁、天井のカビ取りとしても有効で、調理場の消毒のみならず腐敗臭（嫌気性菌由来）も消します。表皮ブドウ球菌が原因の腋臭もウルトラソフト水を噴霧して臭いを消すことができます。体に常在する微生物を表面的に殺菌しても1〜2時間でもとにもどるので、体臭が気になる人は、日に何回か使えます。洗濯物の臭いならウルトラソフト水に浸して洗濯すれば、殺菌防臭効果がえられます。花瓶の水として使うと生け花も1週間は長持ちします。これらの効果は、細菌、真菌、ウイルスなどの微生物を瞬時に殺す作用によるわけですが、作用すると同時にウルトラソフト水は水になっ

てしまいます。次亜塩素酸や二酸化塩素の殺菌作用の学問的な詳細は難しくなるので省略します。私たちの体には、外敵から身を守るための防御機構がいくつもありません。外界と直接に接している皮膚、鼻腔、口腔、気道や消化管粘膜を覆っている細胞も常に無数の微生物にさらされています。皮膚や粘膜が傷害されたり、潰瘍になるとたちまち微生物が細胞や組織内に進入し増殖します。にきびは、にきび菌（*C. acnes*）の感染、虫歯は主としてミュータンス菌（*Streptococcus mutans*）の感染、歯槽膿漏は口腔嫌気性菌の感染が関係し、水虫は真菌感染というように微生物は虎視眈々と増殖のチャンスをおかっています。少しでも体調を崩したり、いろいろな理由で免疫機能が落ちたりするとチャンスとばかりに微生物は増殖してきます。微生物が常在している環境の中で、私たちの細胞が正常な状態を保っていないには大変な苦労があるわけです。

しかし微生物は私たちにとって害ばかりを与えているわけではありませ
ん。常在している微生物と私たちの
細胞はお互いに共存共栄している側
面を忘れてはなりません。外界に接
している皮膚の常在菌、口腔内常在
菌、気道及び消化管粘膜常在菌、女
性の膣粘膜常在菌などはすべて外部
から新たに進入してくる病原微生物
の排除に役立っているばかりか、腸
管内ではビタミンなどの私たちの体
になくてはならない有益な物質を産
生しています。

有害、無害にかかわらず、皮膚
や粘膜の細胞には、進入してきた微
生物を瞬時に殺す能力をもったデフ
ェンシンという物質が準備されてい
ます。デフェンシンは白血球がもつ
重要な殺菌物質の一つでもあり、ア
ミノ酸が30個前後の小さなペプチド
で、6個のシステインを持つ独特な
構造をし、数種類が知られていて、
自然界の生き物に広く保存されてい
ます。世界で始めて合成に成功した

先生のご指導の下に、これらのデフ
ェンシンを合成し、その構造と殺菌
機能を調べた論文をいくつか発表し
ました。このペプチドは細胞膜に五
量体として膜に穴を開けることによ
って細胞を破壊するというユニーク
な物質です。MRSA、緑膿菌、セラ
チア、O157などをはじめ、ほと
んどの細菌や真菌、ウイルスを瞬時
に破壊してしまいます。木や植物が
生きているときには細菌やカビは生
えませんが、死ぬとすぐに微生物や
キノコが生えてくることから分かる
ように、生きている細胞にはこのほ
かにもさまざまな微生物を殺すたく
さんの物質を作っています。

白血球にはデフェンシンとは別に
微生物に触れたらすぐに働く強力な
殺菌作用を持った物質があります。
それが**活性酸素系**です。活性酸素は
簡単に測定できるので、臨床研究の
一環として、慢性気道感染症の患者
さんや、喘息を含むアレルギー性の
肺疾患、肺気腫、自己免疫性の肺線

維症、肺がんなどのいろいろな病氣
の患者さんの血液から白血球を分離
して活性酸素の強さを測定し、病態
との関連で詳細なデータを多数発表
してきました。

自然免疫の一つの補体経路からは、
白血球やマクロファージを炎症の場
に引っ張ってくる物質や、細胞を破
壊する物質をはじめ沢山の生体防御
に役立つ物質が作られます。マクロ
ファージはこの自然免疫系と獲得免
疫系の助けを借りて、活性酸素より
もっと強力な**過酸化窒素系**を用いて
殺菌作用を示します。これらの詳細
についての解説も省略します。この
地球上で生きながらえるには、目に
見えない共存共栄の知恵が脈々と働
いています。私たちの体の中で生き
た細胞が、日々外敵に対して戦うと
きに用いている強力な武器として自
然界に存在する殺菌作用と同じもの
が生体内でも利用されているとい
うのは驚きです。

次亜塩素酸水生成装置はまだ高価

ですが、家庭用として小型で、低価
格になれば大変便利です。レジオネ
ラ感染予防のために風呂に入れて使
用できますし、噴霧してもよく、イ
ンフルエンザや新型インフルエンザ
のシーズンには威力を発揮すると思
われます。夏のプールでのさまざま
なウイルス感染（プール熱をはじめ、
流行性角結膜炎など）の予防にもウ
ルトラソフト水が使えて大変便利で
す。鼻腔粘膜に定着した**MRSA**や多
剤耐性緑膿菌などを除菌するには吸
入器噴霧で容易に殺菌できるはずで
すが、定着した細菌はバイオフィル
ムを作ってもぐりこんでいますので、
表面の細菌は簡単に除菌できますが、
内部のものを除菌するには少し工夫
が必要です。今回は殺菌作用を持つ
消毒剤の一端をお話しました。





就任挨拶

福祉村病院 長寿医学研究所 所長

奥田 研爾 先生

皆さん初めまして。

私は、横浜市立大学の頃から岡田秀親先生と共に研究をしており、この度、長寿医学研究所所長として赴任することになりました。もちろんここでは、臨床の患者さんをいろいろ多くの先輩の先生方のご指導を受けながら、診察或いは治療の一部を担当させていただきたいと思いません。

赴任してまだ2週間あまりですが、この多様な福祉村の施設は、多くの皆様の善意と奉仕によって支えられて居る事を強く感じています。特に、毎朝15分間の全館放送を聞きますと、非常に職員の方が患者様を中心に、多くの病院の基本理念と憲章を端的に分かりやすく、伝えられて非常に感激している所でございます。

以下、簡単に自己紹介をいたしますと、私の生まれは富山県ですが横浜市立大学を卒業して、皮膚科を研修し、次の年から細菌学の研究を行って参りました。それから、大学院の時にいくつかの病院で4年間内科、皮膚科を中心とした研修をさせていただきました。大学院を卒業してすぐ、アメリカに留学し、ワシントン大学、メイヨークリニック等で免疫学・微生物学の勉強をして参りました。

その後、横浜市立大学で教員となり、次にハーバード大学の病理学教室で免疫学の勉強を1年余り研究してきました。

その後、横浜市立大学で教授となり、約10年間、医学部長や副学長等の管理職ばかりやって来ましたが、しかし今後は、自分の目指す医療を行

いたいと思い、大学をやめる決断を致しました。

私は大学に居る時、約15年間看護学校の教育もさせていただきました。従って、前の大学では非常に多くの看護師さん或いは、大学の先生方を指導したりして参りました。私の兄も内科の医者をしておりませんが、私も臨床の勉強をもう少しやりたくなって、約30年御指導をいただいた岡田副院長と話をいたしました。「こちらの病院へ来い、研究と共に福祉の医療を学べるよ」と、いうことで今年の8月からこの病院でお世話になることになりました。

医の倫理や心理学或いは益体、自閉症さらに、ホスピタス、コミュニケーション法など幅広くこの福祉村で学ばせていただきながら、患者様にその知識を還元させていただこうと思っております。現在の緑あふれる、心のあたたかいこの福祉村で働けることは、大変幸せなことと思っています。

私の研究自身は、エイズに対するワクチンをこの20年間主に行い、中国であと1〜2年で臨床試験に入る所まで来ており、エイズ予防が可能になる日が近いと思っています。私自身あまり研究をしなくても、私と共同研究をおこなった人達がそれを前へ進む事となっております。

私は以前より、シユバイツァー博士を尊敬し、ある程度研究が終止符を打つと、医師に戻っているような患者さんと共に病気を治す実践的な方法に邁進していきたく思っております。現在、この福祉村病院に勤めさせてもらい、また、山本理事長や岡田先生のありがたいお言葉を頂き更に長寿医学研究所所長という立派な肩書きも頂き、大変感謝しております。今後、是非がんばっていきたく思っています。

いろいろ分からない事だらけではありますが、多くの方々のご協力を頂き、今後、がんばっていきたく思っています。よろしくお願いいたします。

長寿医学研究所

研究通信

news of study

Vol. 9

福祉村病院 長寿医学研究所 副所長

赤津 裕康

【国際学会出張報告】

さる7月26日〜31日にアメリカ合衆国（USA）のシカゴで第11回国際アルツハイマー学会が開催されました。今回、私は文部科学省科学研究費特定領域「応用ゲノム」のアルツハイマー病研究、分担研究者として参加させていただく機会に恵まれました。

共同研究を行っているDr. W. Campbell, Dr. S. Pelechとのカナダバンクーバーでの打ち合わせの関係で2日早く日本を離れ、26日の夕方シカゴに入りました。シカゴはミシガン湖に面した人口300万弱USA第3の都市です。空港は世界で2番目に忙しい空港と



●テラス



●四重奏団の生演奏

いわれ、鉄道やハイウェイが一部敷地の地下を通っておりその大きさには驚かされました。バンクーバーからシカゴ入りしたのでちよつと暑く感じましたが、それでも日本の比ではありませんでした（緯度は両館と同じくらいです）。市街地は高層建築が多いのですが（摩天楼発祥の地だそうです）、結構ユニークな建物が目立ちました。シカゴには世界最古の鉄骨高層ビルをはじめ近代建築の視点からそれぞれの時代を代表する建築物があり、建築学的にも有名な街だ

そうです（余談ですが、オバマ氏の出身地でもあるそうです）。

学会はミシガン湖に面したマコーミックプレイスで開催されました。テラスからはミシガン湖を望む風光明媚なところで、会場としては世界最大の広さだそうです。参加者は主催者発表で約5,400人。朝8時から夕方6時近くまでスケジューリングがビッシリなだけでなく、シンポジウムなどは4〜6会場で同時並行で行われるので、タイムテーブルを見てどこに出ようか迷うほどで、その移動も大変でした。

私は今の研究に関連のある事、また今後の展開を見据えて、現在はまだ注目されていない発表を聞く方針で参加しました。しかし今回、痛感したのは欧米の臨床治験の進展の速さです。すでにアルツハイマー病の原因の幾つかの段階を抑える事を目標に



●アルツハイマー学会

しての臨床試験が驚くべき数で、驚くべき速さで進行していました。4年ぶりのこの学会だったので少々「井の中の蛙」状態でした。私自身は後半2日にわたってポスター発表を2題こなしました。ポスター発表は昼食時から15時前くらいに毎日組まれており、午後の眠い時間を考慮している感もありましたが、

29日のポスター発表はランチバイキングで来年の主催都市のウィーンから四重奏団の生演奏もありました。私は29日に愛媛大・愛知医大との共同研究である家族性アルツハイマー病の症例報告を、30日に筑波大との共同研究による脈絡叢のプロテオーム解析の発表を行いました。いずれもそこそこの来訪者、質問を受け今後の研究への励みにもなりました。長期にわたり病院を空けてしまひ病棟、医局、研究所の皆様にも多大なご迷惑をおかけいたしました。今後その借りをお返しするつもりで更に研究に励んでいきたいと思っています。



2008年8月28日 講義

自閉症の正しい理解と

その対応について

愛知県自閉症協会 顧問 濱田 徹哉

自閉症。なんと不適切な訳語でしょう。この用語故に随分長い間自閉症及びこれに関わる人たちを悩ませてきました。遡って調べると米国のカーナー博士が一九四七年に大人の精神病の一症状である現実逃避を意味する自閉症に類似した挙動を示す一群の幼児の事例を発表する際に小児自閉症という用語を作ったと紹介したのがそのまま定着したといわれています。

自閉症は、その言葉から連想される引きこもりを意味するものではありません。また発症の原因も、子育て

での失敗や生活環境の急激な変化、異常体験等によるものでもありません。自閉症者の特異な行動は脳の先天的障害によるものであるといわれています。

この自閉症とその同類のアスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害などの障害グループを指す発達障害は、これまで久しく福祉の対象から外されてきましたが、二〇〇五年に発達障害者支援法が制定され、ようやく政府でもその支援の取り組みの検討が始まり、各都道府県に発達障害者支援体制整備推進協議会というまどろこしい名称の組織を当事者団体も含めて設置しました。この名称から早く体制整備推進の六字が取れて欲しいものです。

さて知的障害は発達の量の不足、発達障害は発達の質の偏りが特徴であり、これらは全く異なる障害形態を示します。質の偏りとは、ある面では卓越した能力を示すのに、別の面では全く成長が見られないというアンバランスな状態を指し、このうち自閉症とアスペルガー症候群を特に自閉症スペクトラム或いは広汎性

発達障害といい、知的障害とは全く別の対応が必要です。

一般に自閉症状とはコミュニケーションの不得手、社会性の欠如、こだわり行動を特徴とし「自閉症状の三つ組」といわれています。この内自閉症は言語障害も伴い、同時に知的障害を伴うものも多数見られます。現在、福祉の対象となっていないのはこのグループのみで、しかも知的障害者福祉法の軒先を借りているのです。

一方、知的障害を伴わない自閉症は特に高機能自閉症と云いますが、特別に何らかの優れた機能を持っているという訳ではありません。またアスペルガー症候群の場合は知的障害も言語障害も伴わないため、傍日にはその障害特性は更に見え難く、しばしば性格異常者のような偏見にさらされています。特に社会生活上、彼らに共通する弱点は、常識が備わっていないことです。常識は成長の過程で特に意識しなくても自然に身に付いていくものですが、彼らは一つずつ努力して習得することにより身に付けていかねばなりません。

また彼らには本質的に人を騙すとか嘘をつくという能力はなく、冗談や比喩も理解出来ませんし、第三者の立場に身を置いて考えるところことも出来ませんので、しばしばこのことでもつらい日にあっています。知的障害を伴う自閉症者がしばしば起こすパニックなどの異常行動は殆どの場合彼らの気持ちに周りの人たちに理解して貰えないことに対する苛立ちと悲痛な抗議なのです。

これらはよく水山モデルとして捉えられます。つまり水面上に現れた問題行動は、水面下にその原因が何倍もの大きさで横たわっており、この手当て無しには解決出来ないのです。

この世は彼らには理解できない事に満ちています。未経験なこと、予定外の計画変更は不安で堪りません。ですから、同じことに拘るのです。

最後に私の自閉症の息子の好きな詩の、節を紹介して筆をおきます。

昨日またかくてありけり

今日もまたかくてありなん

家族会に支えられ 共に歩む

ご利用されている皆さんに生きがいや幸せについて伺うと「家族」とお答えを頂くことが多いように、入院や入居などにより離れていても家族とは、切っても切れない関係です。

さわらび会の各施設・病院には家族会がありますが、その中でも特に積極的に活動をしてくださっている第二さわらび荘の家族会を例に、今回紹介をさせていただきます。

第二さわらび荘 家族会の活動

平成15年11月に第二さわらび荘が開所して、平成16年6月の総会にて「第二さわらび荘家族会」が承認され、設立しました。「今まで在宅介護で大変な思いをしてきたので、施設に入所出来て安心した。その分、手が空いたので空いた時間で施設のお役に立ちたい。」と原川会長さんをはじめ役員の皆様方の強力な推進力と多大なご協力をもって「利用者

全員の皆様のために、施設全体の運営を側面的にサポートする」ことを事業運営の柱として活動されています。

それでは活動の概要についてご紹介致します。

◆家族会デー

ボランティア活動の日



「施設のみならずのためになることを行おう」との合言葉で布おむつたみや洗濯などのボランティア活動を月に2回、(第2日曜日と第4水曜日。休日に1回、平日に1回)のペースで実施していただいています。

家族会主導のボランティア活動で毎月2回実施されているのは珍しく、大変素晴らしい活動をされています。この活動でご家族同士が交流することにより横のつながりも広がります。そして、お互いの体験を話し合うことで安心され、一体感も生まれてきているようです。

◆共催行事

家族会のご協力を得て施設との共催にて実施しているものです。

①夏祭り

今年で3回目になります
が、当日、利用者はもちろんですが、面会にみえる家族の皆さん、特にお子さんが沢山が沢山施設に



来て楽しめるように屋台や夜店など軽食やゲームを用意して、全て無料で楽しんでいただいています。盆踊りもあり今年、63家族、延べ148名のご家族の方が参加されました。

②バイキング食事会

今年の4月の総会時に併せて初めて実施しました。



いつもと違う雰囲気の中、ホテルのバイキングで食事をしていくように自分で好きなものを選んでいただくことを目的に、昼食を兼ねて1階のホールにて利用者ごと家族、また同じ施設を利用するご家族同士の交流の場として皆さんにお食事を楽しんでいただきました。43家族、延べ133名の方が参加されました。

◆福祉村共同行事のお手伝い

毎年、夏に行われます「夏休み親子福祉体験講座」においては、参加者へのおむつたたまの指導な

どを率先して行っていただいたり、秋の文化祭には一緒に参加していただいたりと共同行事のお手伝いも家族会が中心になって行っていただいております。

◆その他

「家族会支援費」としてユニットにおける様々なアクティビティの活動資金を援助していただいたり、また、昨年は役員会の決意で大規模地震などが一の時に備え、非常用テント(1張)、非常食(20名×3日分)を配備していただいたりしました。以上簡単ではございますがご紹介させていただきます。

各施設・病院で家族会の皆様は様々な活動を通してがんばっていただいています。私たちは、この素晴らしい家族会の皆様の期待に沿えるように、これからも家族会の声、つまりは利用者やご家族の皆様の声をいち早く運営に反映させて、ご要望にお応えするとともに施設と家族会が様々なことで車の両輪のように利用者の皆様によりよい生活が支援できるように協力していきたいと思えます。

未来を担う子どもたちと親への支援



少子高齢化・核家族化が進む現在、これからの日本を支える中心となる子どもたちが、安心して生活でき、なおかつ安心して子どもが育てられる社会の再構築が重要だと私たちは考えています。

そこで今回、さわらび会で取り組む子どもや親への支援について特集をさせていただきます。

7/26

夏休み親子福祉体験講座

七月二六日に開催され、今年で五回目になる「夏休み親子福祉体験講座」は、さわらび会の地域の子どもたちに対する取り組みのひとつです。

地域交流や福祉教育を目的としたこの講座には、毎年たくさんのお親子さんにご参加頂き、生きる勇氣と感動をもらった、との感想が寄せられています。今年は二二六名の参加があり、子どもたちの笑顔と笑い声で大変賑わいました。

誰もが直面する老いに対して、家族で話し合ったことがあるでしょうか。思いがけない事故や病気で障害を受けたら…。

講座のはじめに、珠藻荘の田中副施設長が、ご自身が障害を受けてから今までまわりのみんなに支えられながら生きてきたことや、今自分のできることで少しでも役に立ちたいと活動してきた「障害を乗り越えて」の講演を行いました。福祉村には午をとっても生き甲斐を持って、生き生きと生活している方が大勢いらっ

しゃいます。障害があっても、自分ができることを一生懸命に取り組み、輝いていらっしゃる方がたくさんいます。この講座では、そういった方々と触れ合うことができます。また、各施設の特徴を活かした車いす体験や健脚度測定、織り体験など、実際に障害を持つ方や高齢者のみなさんと親子で楽しく交流することもできます。

実際ががんばっている方と接することで、「生きること」の意味を考える機会になり、「助け合って生きることの大切さ」を身をもって理解して頂けたことと思います。



● 講演をする珠藻荘 田中副施設長

8/4-5

働く親の姿を見かけ

最近では、子どもが親の働く姿を見る機会がなくなってきました。そこで私たちが働くことの重要性和自分の親が社会の中でどのように働いて社会に貢献しているのかを、子どもさんに理解していただくこと、今年から「働く親の姿を見る会」を始めました。

会のはじめに山本理事長より子どもたちに、「なぜあなた達は今ここにいることができるのか。それは、ご両親から人間としての尊い命をいただいたことや今まで無事に生きてこられたことに対して天地自然、ご先祖様全てに感謝や恩を忘れてはいけません。そして、そのことへのご恩返しが必要です。そのためには、命と共に与えられた才能を存分に伸ばし、まわりの人々のために役立つ働きをすることが大切です。そして、今日は、親御さんの一生懸命働いている尊い姿を自分の目でご覧になってください。」と話されました。

その後、子どもたちは、病院や各



●子どもたちに優しく語りかける山本理事長

施設で働く親の姿を見学に行きました。自分の親やいろいろな職員がみんなのために働く姿を見た子どもたちは、親への感謝やがんばって働いている姿を見ることができ嬉しかったなどと話していました。

会の終わりには、今日あったことを話しながら親と子が一緒にお昼ご飯を食べ有意義なひと時を過ごしました。

保育園と学童保育

昔は、同居のおばあちゃんや近所の方々などに支えられながら子育てをしていましたが、核家族化が進んだ現在では、子育ては夫婦平等であるべきと思っても、大部分を母親に依存しているのが現状だと思います。そのため結婚をして子どもができるまで、子育てが終るまで母親が家庭に留まることが多くなります。

さわらび会の子育て支援は、今から三十年以上も前に山本病院の託児所からスタートしました。

二〇〇四年には福祉村保育園を開設し、より充実したものに発展させています。

同じく二〇〇四年から夏休みや冬休みに、福祉村公園の瑞恵寺で学童保育を始めました。学童保育では、福祉村の特徴を活かして、施設ご利用の皆様方との交流や川遊び、昆虫を捕まえるなど自然と触れ合いながら、最近では少なくなってきた学童を超えた交流を深めています。上級生が下級生の面倒をみてくれ、

他人を思いやる心も育っているようです。



●近くの川で自然に触れ合いながら川遊び

障害児への支援

障害児を抱えるご家庭では、学校が長期休みになる夏休みなどは、子どもも親もストレスの溜まる時期のようです。障害児へのヘルパー派遣事業をさせていただいているさわらび会も、この夏休みは職員を何とかやりくりして需要にこたえるのが一杯です。季節的な需要ですので安

易に職員を増やしさえすればいいという問題でもなく今後への大きな課題といえるでしょう。



さわらび会では、今回紹介した他にも「福祉村キャラバン隊」、小学生の「福祉体験学習」、高校生を対象とした「ボランティア体験学習」など積極的に受け入れています。

訪問して頂いた多くの皆さんが、有意義な体験と思いを刻み、人として豊かな成長をされる一助になればと考えています。

子どもや親のために様々な活動や支援を行っていますが、今後とも命の大切さ、がんばることの美しさ、助け合う優しさを親子で感じ話し合う機会を提供できればと考えています。そして、地域の皆さんと一緒に「みんなの力でみんなの幸せを」守っていきけるよう、今後とも様々な取り組みを行って参ります。

(さわらび編集スタッフ)

GP2復帰2ラウンドで 待望の初入賞

左近選手にとってGP2復帰
2ラウンド目となる、第7戦・
ハンガリーGPが8月2、3日
に開催された。

12番グリッドからスタートし
たレース1では、序盤から同じ
日本人ドライバーの小林可梦偉
選手とバトルを展開。【取後はきつ
ちりと抑えきってトップ10フィニッ
シュを果たした。

翌日行われたレース2では、
10番グリッドから好スタートを
見せ、1周目には早くも7番手
まで浮上。その後もペースよくラッ
プを刻み、【取後は4位でフィニッ
シュ。06年から欧州に活動拠点
を移している左近選手にとって
待望のGP2初入賞となった。

レース後、左近選手は「入賞
が見えてきた最後の5周は本当
に緊張しました。特にリアタイ
ヤがタレている、コースにマシ
ンを留めるのがやっとでした。
とにかくポイントは素直に嬉し
いです。ヨーロッパに来てからずつ
と目標でしたからね。自分のな
かですっと引っかかっていたモ

山 本 左 近

[勝利宣言]



「次はきっと勝つ」

左近選手にとってGP2復帰2ラウンド目となるハンガリーGP。
ペースよくラップを刻み、早くも待望の初入賞をはたす。
自分の走りに手応えを感じている左近選手。
表彰台にあがる日はもう目の前だ。

• Photograph by ART グランプリ



◆2008年GP2 左近選手参戦スケジュール

開催日	開催国	開催場所
2008/09/07	 ベルギーGP	スパフランコルシャン
2008/09/14	 イタリアGP	モンツァ

◆2008年ルノーロードショーカレンダー

9/20・21 東ヨーロッパ キエフ



ルノーロードショーで左近選手のドライブするF1マシンを見ることができます。

ノが取れた感じがします。」と
初入賞の感想を語った。
また、「チームともうまくいっ
ているので、次は勝ちますよ」
とすでに気持ちは次のヨーロッパ
バGPへ向いていた。
GP2復帰2ラウンド目で早
くも入賞を果たした左近選手。
少しずつ手応えを掴んできたよ
うで、表彰台に上がる日も目前
に迫っている。



俳句 浪 漫

直筆の書で
季節を彩る



ジュゲム施設長、東京大学客員研究員
金井 芳之

地球温暖化によって随所で季節外れの現象が進む昨今ではあるが、蝉しぐれに因しては秋の子供の頃と大差はまだない。蝉しぐれも桜の開花と同様に、何の感慨もなく漠然と聞き流して来たが、私も齢を暮るにつれて、その受け止め方が変わって来た。あの小さな生物から湧き出るエネルギーが地上に現れて、いったい何回独唱（または合唱）するのであろうか？ いったいあの蝉しぐれは我らに何を訴えているだろうか？ 蝉達は自身の短命を惜も知っているが如く全力を振り絞って鳴いているに相違ない。それに対して、ひとはこの世に生をあずかっただけで何となく四季のサイクルを経験できる。蝉の短命を想えば、ひとは一生に多くのチャンスを与えられる幸せな生物であることを肝に命じて常に精進し続けなければならないであろう。

蝉しぐれ
明日はまた
知りなむ

某之

ねむる日記

7月20日 - 7月16日 - 8月15日

■福祉村病院・シユゲム

7月16日 第一病棟家族会
第二病棟家族会
第三病棟家族会
第四病棟家族会
第五病棟家族会
第六病棟家族会
第七病棟家族会
第八病棟家族会
第九病棟家族会
第十病棟家族会

20日 朝長信報交換会(理事長出席)
認知症の人と家族の会(理事長出席)
推挙女性認知症の啓蒙講演会(総務部市)にて伊対弘之副院長が「若年性認知症の人と家族への理解」について講演

23日 豊橋みなとライオンズクラブ例会に理事出席
シユゲム家族会
朝長信報交換会(理事長出席)

24日 さわらび人学「認知症の理解」伊対弘之福祉村病院副院長
症例カンファレンス「予防のための排菌用品使用方法について」名古屋市緑保健所主催認知症予防防教室にて伊対弘之副院長が「認知症の予防」について講演
夏休み親子福祉体験講座(理事長出席)

25日 日本李沐東「河大会」(理事長出席)
ドクターとして出席
豊橋市医師会在宅医療委員会(理事長出席)

26日 豊橋市医師会「手洗い」について豊橋市社会福祉協議会主催介護者教室にて伊対弘之副院長が「認知症の正しい理解と認知症のケアについて」を講演

27日 早稲浦共栄会(理事長出席)
高師者インフルエンザワクチン予防接種講習会(豊橋市医師会)に理事出席

28日 「徳」親の姿を見る会」を福祉村で実施(理事長出席)
「徳」親の姿を見る会」をさわらび荘で実施(理事長出席)

29日 さわらび大学「認知症のみなさんへの話し方」柴田竹夫さわらび社代表理事長

30日 合同懇話会(瑞穂寺)(理事長出席)
医療法人さわらび会開院記念式典(理事長出席)

31日 合同懇話会(瑞穂寺)(理事長出席)
医療法人さわらび会開院記念式典(理事長出席)

7月17日 介護予防教室(松下・浅見・本江川地区市民館)

7月17日 介護予防教室(松下・浅見・本江川地区市民館)

7月17日 介護予防教室(松下・浅見・本江川地区市民館)

7月17日 介護予防教室(松下・浅見・本江川地区市民館)

7月17日 介護予防教室(松下・浅見・本江川地区市民館)

18日 愛老協有識者研修(館市 豊田市)
愛知県認知症グループホーム全国大会実行委員会(施設長、名古屋)
福祉の就職フェア(施設長、上井豊橋商工会議所)

20日 豊老協全体会(施設長、上井、藤原、浅見、田沼、柴山、佐山、鈴木、高橋、社会福祉士職種別地域ケア会議(本江、つじが丘)

22日 社協ボランティア体験説明会(藤原、浅見、つじが丘)

23日 ケアマネ相談窓口(浅見、名古屋)
豊老協21世紀委員会コーディネーター研修(田沼、カリオンビル)

24日 豊老協全体会(施設長、浅見、つじが丘)
豊老協全体会(施設長、浅見、本江、つじが丘)

25日 介護支援専門員研修交流会(本江、つじが丘)

29日 介護予防教室(施設長、市役所)
介護予防教室(松下・浅見・本江川地区市民館)

31日 介護保険事業者講習会(白井、名古屋)
介護保険事業者講習会(白井、名古屋)

8月6日 介護保険事業者講習会(白井、名古屋)
介護保険事業者講習会(白井、名古屋)

7月17日 愛老協有識者研修(谷川、豊田)
介護力向上講習会(幸、東京)

22日 豊老協全体会(山本施設長、東根、松下、白井、小木、豊橋)

25日 豊老協21世紀委員会研修(松原、遠山、豊橋)

28日 社会福祉施設非営利職員基礎研修(豊橋、名古屋)

29日 指導指針会実践的基礎講習(山本施設長、長坂、金森、東京、30日)

8月6日 全国老協協第5回止開会(委員長会、山本施設長、東山)

8月6日 三河新野青年クラブ入会式(長会、山本施設長、奈良施設長、安城)



福祉村病院 副院長
伊莉弘之



第三十四番種間寺から第三十五番区上山清滝寺まで十キロ、歩けば三時間、車でも三十分以上かかる。みかん畑の間の道は対面通行が困難な幅の道路で曲がりくねっていた。運転手の私は寿命が縮んだ。

駐車場から仁上門まで流汗坂と呼ばれる細くて急な石段を登る。仁上門の天井には龍の絵が描かれていた。海拔四〇メートルの清滝寺の本堂前には、高い台座の上に薬師如来の立像がある。そ



の台座の中は「戒壇めぐり」である。

清滝寺は弘法大師が本堂近くで七日間の修法をして満願の日に金剛杖をつくくと地面から清水が湧き出て鏡のような池ができたという伝説から現在の寺名となった。

清滝寺の本堂の右奥には、小さい滝が流れ落ちていた。冷たい。

お参りを終え薬師如来の台座の下の「戒壇めぐり」をした。薬師如来の真言「おんころころせんだりまとうぎそわか」と唱えながら真つ暗な中を歩いた。子供たちは御真言を怒鳴って歩いた。目を開いているのに本当に全く何も見えない。まさに真の闇である。不安で恐ろしい。「遊園地の絶叫マシンより怖いよ」と中の娘。言葉にならない小三の娘。



福祉村病院 事務長 濱野 亮

残暑の厳しい中みなさんいかがお過ごしでしょうか。

我が家は小さいながらも家庭菜園があり、キュウリやナスなどを栽培しています。今年は、スイカ、パプリカ、トウモロコシに挑戦し、パプリカは赤々と実を付けましたが、雨が少なかった事もあり、スイカとトウモロコシは成長が良くなく、余り収穫できませんでした。また、今月は巨峰、来月にはサツマイモを子供たちと一緒に収穫する予定です。

子供と一緒に、土をいじり、種や苗を植え、水撒きや雑草・害虫を取ったりすることで食物を作る大変さ、食べる事ができるありがたみを子供達が感じてくれているといいなと思っています。

次回は、障害福祉サーピス事業所 明日香 事務員の 藤井陽子さんです。



さわらび会後援会寄附ご芳名

平成20年7月15日～8月14日

市内牧野町90	小松ウメ氏	5,000円
市内東雲町47	梅村敏夫氏	16,000円
新城市南畑74	光田屋様	10,000円
市内大清水町字富士見804-1	藤松谷建設	10,000円
市内小池町36-1	共和印刷様	5,000円
市内高塚町神田68	田京敏明氏	5,000円
市内中岩田三丁目11-3	白井良治氏	1,000円
市内弥生町字西巻和9-9	林 昭氏	10,000円
市内笠町30	朝中野新松商店	10,000円
市内瓜郷町前川50-1	鈴木弘生氏	10,000円
市内東新町314	朝日医工新和	10,000円
市内間屋町15-5	朝スズケン	10,000円
市内東田町154	朝竹田商店	10,000円
市内飯村北二丁目26-16	佑滝川器械店	10,000円
市内東脇三丁目1-17	森田山利子氏	10,000円
市内白河町100	中部ガス様	10,000円
市内神野埠頭町2	神野臨海様	10,000円
市内野依町山中19-14	福祉村病院職員有志	4,000円
	匿名希望氏	20,000円
	匿名希望氏	20,000円
	匿名希望氏	10,000円

その他匿名希望多数の方よりご寄附頂きました。

計 206,000円

現在までにご寄附いただきました金額は

821,606,410円

＊ お礼コーナー ありがとうございます ＊

※印は豊橋善意銀行を通して

▼豊橋祇園祭奉賛会様

▼藤オータ様

豊橋祇園祭招待※(球票庄)

プロ野球観戦招待※(球票庄)

▼森 泰樹 先生のご蔵書寄贈さる

先般、森外科クリニック 院長 森 澄 先生より、森泰樹先生のご蔵書が、福祉村病院に寄贈されました。

仏教書が最も多く、その他、歴史書、文学書、美術書、能・狂言関連、俳句そして茶道関連の書などなど、実に多方面にわたる貴重な書籍を非常に多くいただきました。まことにありがとうございます。

職員諸君の成長、学習に役立てるために、図書室の一隅に分類して収納いたしましたので、ぜひ、ご利用ください。

森先生に心から感謝申し上げます。



インド福祉村協会寄附ご芳名

平成20年7月11日～8月10日

名古屋市中区新栄1-7-12	東海労働金庫	8,400円
静岡県浜松市北区細江町三和391-4	岩地敏弘氏	3,000円
名古屋市長和区山花町50	医療法人 生寿会 理事長 酒井宏氏	50,000円
名古屋市名東区高柳町902	清田武男氏	10,000円
岐阜県岐阜市菅生4-4-2	和泉順子氏	5,000円

計 76,400円

募金方法(インド福祉村)

■振込先 郵便局 ゆうちょ銀行・振替口座

口座番号00830-2-65008 加入者名 インド福祉村協会

■連絡先 経営老人ホーム若菜荘 ☎0532-48-1138まで

愛知県国際交流協会より助成金

この度、財団法人愛知県国際交流協会様よりインド福祉村協会に対し、国際貢献支援事業に対する助成金を交付していただけることが決定しました。当会では、今回の助成金によりインド北部の貧困世帯の多い純農村地帯にて、慢性感染症、特に呼吸器系の結核に対する治療を行うことに助成金を活用したいと思っております。

長期に渡り、かなり高額な治療費のかかる結核治療は、貧困な農民にとっては大変難しく、そのため治療を中断してしまうケースも珍しくありません。今回の補助金により、治療費が軽くなれば本人にとっても家族にとっても大変喜ばしいことと思っております。(武田)

研究費の管理者

福祉村病院の長寿医学研究所には、先駆的な研究をされている優れた先生が大勢いらっしゃり、政府やその他の機関から、多額の研究費をいただいております。

研究費を有効に活用して、立派な研究成果をあげていただくために、この度、研究費に関与する専門職員を2名新たに配置するとともに、研究費の管理を担当する

◎研究費管理責任者 先端医療担当副院長

岡田 秀親

◎研究費管理顧問 福祉村病院顧問

山本 ゆかり

を、2008年8月21日付で任命しました。



あたたかな夢空間

「ぼくとわたしの夏休み」

さ とうゆきおさんは、海水浴で飛び込みに失敗をし、首から下の自由を失いました。今は、口に筆をくわえて、夢のある絵を描いています。



●日東電工ひまわり 川村賢治社長と

障 害者や高齢者の方々が働く日東電工ひまわり様(豊橋市)を通して紹介していただいた、日東電工様の本社(大阪市)に飾る四季のシリーズを描いています。大きなキャンバスに納得がいくまで筆を走らせ、2作目の「夏」が完成しました。現在は額に汗を浮かべながら、次の「秋」に取り組んでいます。さとうさんの優しい人柄があふれる、素敵な作品になりそうです。

みんなの力でみんなの幸せを

2008年9月1日発行 早慶 第425号

(昭和62年9月1日第一種郵便物認可)

充実した医療と福祉

- 特別養老ホーム さわらび荘 ☎(0532)54-3501
- 特別養老ホーム 第二さわらび荘 ☎(0532)37-1209
- ケアハウス カサ デ ローザ ☎(0532)48-1138
- 軽費老人ホーム 若葉荘 ☎(0532)47-1050
- 障害者支援施設 珠藻荘 ☎(0532)48-2825
- 福祉村病院 ☎(0532)46-7511
- 障害福祉サービス事業所 明日香 ☎(0532)46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しるがね ☎(0532)48-1032
- 福祉コンビニ(東豊町) ☎(0532)69-5666
- 第二福祉コンビニ跡生 ☎(0532)38-9090
- さわらび会障害者居宅介護事業所 田原 ☎(0531)24-0722
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム ☎(0532)46-7501
- 田原市障害者生活支援センター(市委託) ☎(0531)45-3828



社会福祉法人 さわらび会

編集・作者：武田和敏 印刷：共和印刷所 定価：100円

■表紙：「絵画／ぼくとわたしの夏休み」●さとうゆきお(珠藻荘)

編集後記

「きつい」「汚い」「給料が安い」といわれる福祉の現場。いわゆる3K。介護福祉専門学校に始まり今では、私大の福祉学部も定員割れに加速しているという。日本とインドネシアのEPA(経済連携協定)に基づき、先月7日にインドネシアから看護師や介護福祉士をめざす人達の受け入れを始めた。政府はあくまでも人材難の解消を目的としたものではなく、EPAによるものであるとしているが、これも当初の予定を大幅に下回った入国者数となっている。世界に類を見ない早さで高齢化が進む日本。いままでの様に、意識の高い、ボランティア精神の強い選ばれた職員により介護がなされてきた方法だけでは到底対応ができるはずもない。(武田)